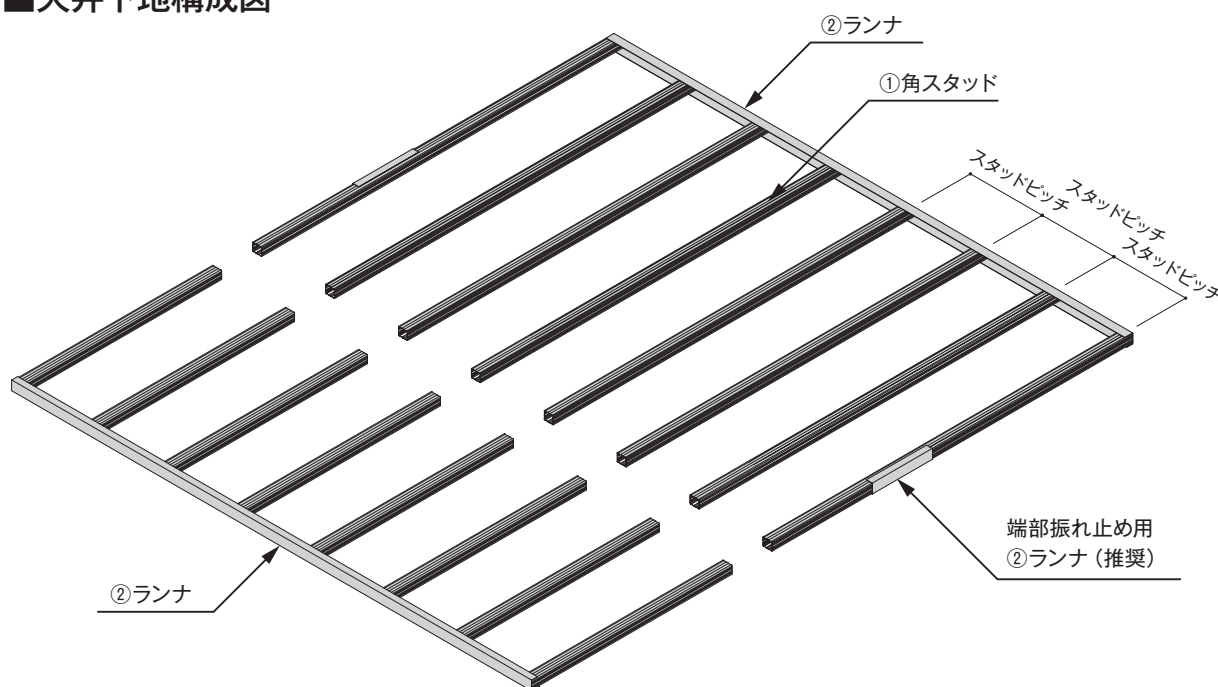


小規模空間で従来用いられてきた木軸工法に対し、
角形鋼製下地材を採用することで構造的な強度評価が可能となりました。
天井・壁で同一形状の下地材を使用でき、施工手順の統一と効率化に寄与します。

■天井下地構成図

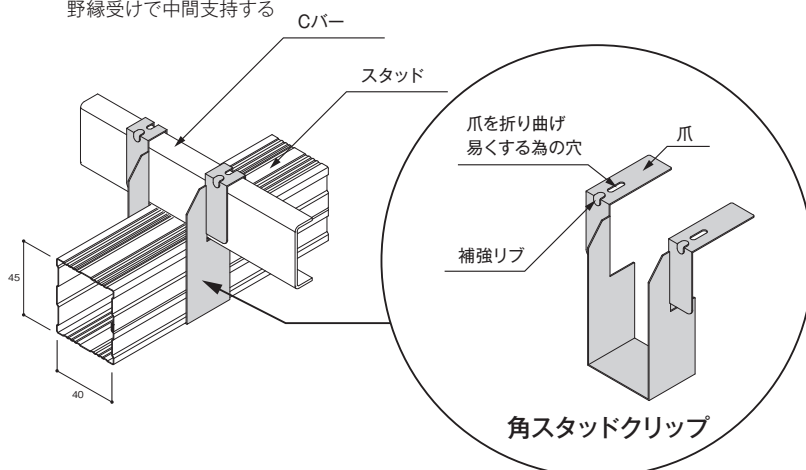


【角スタッドが適する天井の例】

- 天井ふところが狭く、つり天井の施工が困難な天井
- 天井内にダクトや配線が混みあっており、
つり材の配置が困難な天井

〈中間つり部〉

※適用スパンを超える場合は、
野縁受けで中間支持する



※使用する角スタッド材に合わせて
各種取り揃えております。

※右表の推奨する適用スパン内であれば、
図の中間つり施工は不要です